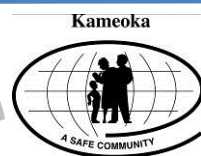


セーフコミュニティ かめおか

— けがを予防しよう —



2008 2013

平成 27 年 6 月号

セーフコミュニティとは…

セーフコミュニティ（SC）とは、WHO（世界保健機関）SC協働センターが推進する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体で進める安全安心なまちづくりの取り組みや、それを行う地域のことです。

TOPICS

1. 「事故はゼロ in かめおか2015」
2. 高齢者運転免許証自主返納支援事業
3. セーフスクール特集
4. セーフコミュニティかめおか対策委員会合同研修会
5. スポーツ外傷調査報告

◇問い合わせ先◇

亀岡市総務部安全安心まちづくり課
電話：0771-25-5097
FAX：0771-24-5501
E-mail:1sc2008@city.kameoka.kyoto.jp

「事故はゼロ in かめおか2015」

～Good マナー キラツと光って～

5月14日、亀岡運動公園体育館で、平成27年春の全国安全運動メイン行事である「Good マナー キラツと光って 事故はゼロ in かめおか2015」が開催されました。

第1部の交通安全功労者等表彰式では、地域、職域において、交通安全の推進に長年にわたり貢献された皆さまを表彰しており、亀岡市交通安全対策協議会長を務める栗山市長からは、太田保育園の皆さんなどへ「交通安全功労者」として表彰しました。

第2部では、ミニ交通安全教室や京都府音楽隊・カラーガード隊による交通安全演奏会が開催されました。ISS に取り組む亀岡あゆみ保育園や亀岡市立中部保育所の園児たちも参加し、交通ルールについて学びました。

最後には、参加者全員で「事故ゼロ」の人文字を作成し、今後の交通安全への思いを新たにしました。



〔交通安全功労者等表彰〕



〔園児たちも参加〕

高齢者の交通事故を減少させよう～高齢者運転免許証自主返納支援事業～



亀岡市では、5月1日から「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を開始しました。

近年、高齢者のドライバーが加害者となる交通事故が増加しています。一方、「最近運転に自信がなくなってきた。でも移動が不便になるので免許証を手放すことができない。」との声もあることから、高齢者が免許証を自主返納するきっかけづくりとして実施しています。

返納者には、バス乗車カードまたはタクシー利用カードの無料進呈もありますので、ぜひご活用ください。

セーフコミュニティかめおか対策委員会合同研修会を開催

5月18日、ガレリアかめおか大広間で、セーフコミュニティかめおか対策委員会委員を対象に、合同研修会を開催しました。

第1部では、日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子さんから「セーフコミュニティ対策委員会 位置づけと役割」をテーマに講演がありました。対策委員会とは、「多様な立場から、亀岡市の重点課題について協議する場であり、みんなが一緒になって取組む分野・組織を超えた協働・連携が大切である」と話されました。

第2部では、一番最近にセーフコミュニティの認証を取った北本市の交通安全対策委員会 委員長 横山和代さんと、くらし安全課 主席主幹 高柳宣正さんから、北本市の取り組みについて、報告があり、対策委員会の委員らでアンケート調査等を実施しているなど、興味深い取り組みが話されました。

参加者からは、「セーフコミュニティについて、改めて考える機会となった」との感想が聞かれました。



〔白石代表理事からの講演〕



〔北本市からの報告〕

スポーツ外傷調査の結果報告～スポーツ少年団のケガを防ぐ～



5月21日、亀岡運動公園体育館会議室で開催されました「スポーツ少年団指導者会議」では、平成26年度に実施した「スポーツ外傷調査」の報告を行いました。

余暇・スポーツの安全対策委員会の委員長である吉中康子さんは、子どもの低体力や生活習慣の変化が問題になってきている中、スポーツ少年団の活動は有意義であり、その中で安全性を確保する取り組みは非常に重要であると話しました。

特集 SCモデル地区「篠町自治会」の取り組み～「KAMEOKA 交通事故ゼロをめざす日」～

篠町自治会と亀岡市交通安全対策協議会では、平成24年4月に起きた通学路で登校中の児童列に車が突っ込み、多くの犠牲者と重軽傷者を出すという悲惨な事故が発生したことから、市民誰もが、あの悲惨な事故を風化させず、二度と交通事故を起こさないという強い思いを込め、4月23日を「KAMEOKA 交通事故ゼロを目指す日」として、今年度より新たに活動を始めました。



今回は、早朝の通勤通学時間帯において、通学路を通るドライバー対し、オリジナルティッシュを配布し、交通事故防止を呼びかけました。

インターナショナル・セーフスクール

セーフスクールとは…

体と心のケガやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール（ISS）です。

曾我部小学校の「安全ラリーとマップ作り」 ～地域の安全を確認する～

4月15日及び16日に、曾我部小学校で、「安全ラリーとマップ作り」を実施しました。

今までの安全マップに加え、今回は立命館大学歴史都市防災研究所と連携し、より具体的で効果的なマップづくりを目指した取り組みです。

1日目は、安全マップの説明を聞いた後、登校班に分かれて実際に地域に出向き、児童が危険箇所を話し合いながらチェックをする「安全ラリー」を実施しました。地域の民生委員や保護者なども一緒に活動しました。また実際に「こども110番」に指定されている自治会や家を訪問し、声かけの方法などを体験しました。

2日目は、4から6年生が、1日目にチェックした内容をマップに書き込む作業をしました。危険箇所は赤で目立つようにするなど工夫を凝らしてマップを作成し、その後1から3年生の前でマップの内容を発表しました。

東本梅保育所のかけっこ指導～正しい走り方で体を鍛える～



〔自治会長の指導〕

東本梅保育所では、スポーツ指導者の資格を持つ東本梅自治会の野田会長による、園児の「かけっこ指導」を行っています。

野田会長から、まずは走り方の基本として、「腕の振り方」や「足の上げ方」について、園児に分かりやすく体を使っての説明がありました。

その後は、実際に教えてもらった内容を実践するため、園児が直線コースを走りました。腕の振り方に気を付けて走ると、フォームが正しくなり、スピードも上がって、園児も楽しんで走ることができていました。

東本梅保育所は、今後も地域とともに、園児の体づくりを考えていきます。



〔かけっこの様子〕

TOPICS

1. 曾我部小学校の「安全ラリーとマップ作り」
2. 東本梅保育所の「かけっこ指導」
3. 川東保育所と亀岡川東学園のISS交流「交通教室」
4. ISS研修会



〔安全ラリーの様子〕



〔安全マップの作成の様子〕

川東保育所と亀岡川東学園のISS交流「交通教室」 ～地域で交通安全を考える～

5月12日、川東学園体育館で、川東保育所と亀岡川東学園合同の「交通教室」を開催しました。合同の交通安全教室は初の試みです。

まず子どもたちは、亀岡警察署交通課職員から、人と車両の見分け方や、道路の通行方法について学びました。

次に、体育館に道路の様子を再現し、実際に学んだことを体験しました。川東保育所の5歳児たちと亀岡川東学園の1年生が手をつなぎ、1年生がリードして横断歩道を渡りました。また地域交通安全活動推進委員協議会の皆さんや馬路駐在所員も、子どもたちに横断歩道の渡り方について指導しました。

合同交通安全教室を実施することにより、川東保育所の園児たちは、小学校との交流を体験でき、貴重な機会となったことでしょう。

今後も小学校と保育所の交流を大切に活動していきます。



〔亀岡警察署員からの説明〕



〔児童と園児と一緒に横断〕

ISS取り組み保育所・園のISS研修会を開催 ～職員全員でISSに取り組む～

5月27日、中部保育所で、亀岡あゆみ保育園及び亀岡市立保育所8園の職員が集まり、ISS研修を開催しました。今までISSの中心になっていた職員だけでなく、全職員のISSの理解を深めることを目的としたものです。

まず、中部保育所から、自分たちの取り組みについて説明がありました。「体づくり」として実際に取り組んでいる「たまごのポーズ」や「ウルトラマンのポーズ」などを職員が実践したり、環境整備の方法について教室を見学しながら説明がありました。

その後は、9保育所のメンバーがグループに分かれて、改めて「ISSとは何か」を考え合い、その後「各保育所の取り組み」について情報交換を行いました。

参加者からは、「日々の保育がISSにつながることを確認し合えた研修であった」との感想がありました。



〔中部保育所の取り組みを見学〕



〔交流会の様子〕

ISS認証審査の実施について（6月30日～7月3日）

平成25年9月にISS取組宣言を行って以降、曾我部小学校・亀岡あゆみ保育園・亀岡市立保育所8園で取り組みを積み重ねてきました。

上記日程にてISS認証センター（WHO認定）による認証審査が行われます。ぜひとも取り組み小学校や保育所へ見学にお越しください。（詳細は安全安心まちづくり課または、各校・保育所まで）